

日本サインデザイン協会 8人のあつい塾長による
プロフェッショナル塾 in FUKUOKA



講師プロフィール Speaker's Profile



渡辺 太郎

Taro Watanabe

有限会社
エモーショナル・スペース・デザイン
代表取締役 ディレクター

1964年 東京都生まれ
1991年 多摩美術大学デザイン科 グラフィックデザイン専攻卒業
1998年 エモーショナル・スペース・デザインを設立

エモーショナル・スペース・デザイン代表、日本サインデザイン協会常任理事。
空間/施設等の環境グラフィックス、プロダクト/サイン/内装計画及び、企業や地域の活性化のためのBI計画、VI計画などのプランニング、コンサルティング業務を手がける。
東京国立近代美術館リニューアルといった公共施設のサイン計画から東京ミッドタウン等の大型複合商業施設までの幅広いフィールドでサイン計画に参画する。
グッドデザイン賞、SDA 最優秀賞、優秀賞、奨励賞等受賞多数。



島津 勝弘

Katsuhiro Shimazu

島津環境グラフィックス有限公司
代表取締役
クリエイティブディレクター

1959年 富山県生まれ。
独学にてデザインを学ぶ。
1988年 島津環境グラフィックスを設立。

現在、日本サインデザイン協会常任理事、日本サイン学会副会長、JUDI 北陸ブロック幹事、富山県上越市景観アドバイザー。情報デザイン、環境デザインを専門領域として活動。富山市 LRT 構想トータルデザインなどに参画。教育環境では、多数の学校において生徒参加型のWSにて、デザインコーディネートを行った計画を進めている。医療環境では、医療看護支援ビクトの開発から普及を進め、新たに急性期病院の情報改善への取り組みへと活動の範囲を広げている。SDA 賞大賞通産大臣賞他、グッドデザイン賞金賞等、受賞多数。



武山 良三

Ryozo Takeyama

富山大学
芸術文化学部部長

1956年 大阪生まれ
1980年 京都市立芸術大学美術学部卒業
1987年 株式会社ストロイエ代表取締役
1997年 国立高岡短期大学助教授
2005年 富山大学芸術文化学部教授

デザイン事務所ではいち早くMacを導入、南海電車、神戸ハーバーランドのサイン計画をフルデジタルで行う。大学では地域活性化をテーマに活動、地元企業のデザイン開発、路面電車の再生、地域連携教育プログラムなどを企画・実行する。現在は、屋外広告物を中心に景観まちづくりを推進する調査研究や改善策の提案を行っている。日本サインデザイン協会常任理事、日本サイン学会会長の他、富山県をはじめ全国各地の景観審議会委員等を務める。



定村 俊満

Toshimitsu Sadamura

株式会社 ジーエータップ
代表取締役社長

1952年 北九州市生まれ
1976年 九州芸術工科大学画像設計学科卒業
1976年 株式会社ジーエータップ入社

現在、株式会社ジーエータップ代表取締役社長、日本サインデザイン協会会長、NPO FUKUOKA デザインリーグ副理事長、山口大学講師。情報デザイン、環境デザイン、ユニバーサルデザインを専門領域として活動。福岡市営地下鉄七隈線トータルデザイン、九州大病院小児医療センター環境デザイン、JR西日本新幹線博多駅環境デザイン等を手掛ける。SDA 賞経済産業大臣賞、グッドデザイン賞等受賞多数。